

川本真琴さん  
勝手にベスト5  
2026年版

令和8年9月9日 起床音楽係E539

# 川本真琴さん

- 福井県出身のシンガーソングライター。
- 1996年「愛の才能」でメジャーデビュー。
- 1997年「1/2」が大ヒット、アルバム「川本真琴」はミリオンセラーに。
- 音符の詰まった字余り気味のメロディ、日常の断片を飛躍させる言葉づかいの歌詞、キュートなハイトーンヴォイスに日本中が魅了され、一世を風靡。
- 何度か休止がありながらも現在まで音楽活動継続中。  
2026年デビュー30周年。

# 川本真琴さんコア情報

- 1974年1月19日生まれ。  
松任谷由実 宇多田ヒカル Cocco  
白井貴子 Rod Evans Janis Joplin
- 仁愛女子短期大学音楽科ピアノ科卒業  
「本職」はギタリストではなくピアニスト
- 敬愛するアーティスト  
岡村靖幸 ユニコーン レベッカ  
Kurt Cobain Janis Joplin 岡崎京子

# 起床音楽係が30年推す理由

- 変わらないキュートヴォイスに30年惚れ続けている。
- 究極的完成度のメロディーと演奏、そして心理学的・精神分析的な考察を深めるほどの含蓄ある歌詞。
- インタビューの数々から自分の音楽の知識を深めた。  
川本真琴さんがいなければミュージックソムリエにはならなかった。
- とにかく宇宙一好き。

# いさはやサマーフェスタ2026



# 川本真琴さんベスト5in2026

1. DNA
2. FRAGILE
3. ホラーすぎる彼女です
4. やきそばパン
5. アイラブユー

## 5. アイラブユー(2010)

- アルバム「音楽の世界にようこそ」収録。
- 愛する人への感謝をシンプルな言葉で描く、ミドルテンポのラブソング。
- 初期とはあまりにも対照的だが受容しやすいメロディーに感動。長く応援するきっかけとなった楽曲。
- 年経るごとにランクアップしているコアファンたちの代表曲。いさはやサマーフェスタでも歌唱された。

## 4. やきそばパン(1997)

- アルバム「川本真琴」収録。
- 歌詞は、家庭機能不全のさなかにいて葛藤を抱えた高校生の女の子のストーリー。当時の女子高生に強い共感と支持を得たと言われている。
- 「フクヤのおばちゃん」に私も会ってみたい。

### 3. ホラーすぎる彼女です(2016)

- 2016年シングル配信リリース、2019年アルバム「新しい友達」収録。
- 川本真琴のキュートヴォイスが最も生かされている、最もキュートな歌詞とメロディー。フルートは本人演奏。
- デビュー20周年を記念し、本曲を主題歌にして短編映画が製作された。当時マスコミの影響もあり、タイトルだけが先行して拡散していた。

## 2. FRAGILE(2000)

- 2000年シングルリリース、2001年アルバム「gobbledygook」収録。
- 岡村靖幸(磯野栄太郎)作編曲、David Campbell弦楽器アレンジ、さらにはスタン・カタヤマがレコーディングに関わる。印象深いベースは有賀啓雄
- いわゆる「Hey Jude」方式で、アウトロのコーラスが長く、演奏時間は10分53秒。その秀逸なアレンジは川本真琴御本人。
- 日本のサイケデリック・ミュージックの金字塔！！！！ではないかと。

# DNA(1996)

- メジャー2作目のシングル曲。CD販売30万枚越えの大ヒットとなる。
- 彼氏のことが好きすぎて自分と彼氏の境界線がよく分からなくなっている女性のストーリー。「大嫌いなのに愛してる」という不安定な情緒。
- 表題には、生物の根源である「DNA」にかけて、アンビバレンス(両価性)という本能的情緒が込められている。
- 長年解釈を考え込んでしまうほどの素晴らしい歌詞。